2020 年度　部局 FD 活動報告

生命環境科学域（理学類を除く）

1.　FD 活動の実施体制、取り組みの概要

- 生命環境科学域では、「授業振り返り（授業アンケート）」への教員コメントの入力を推進した。
- 学域在学生（1～3 回生）の学期ごとの単位修得状況を保証人へ連絡するとともに、成績を把握することで学生に対する個別指導に役立てた。
- 応用生命科学類では、学域在学生（1～3 回生）に GDS academic（ベネッセ社）によるアセスメントテストを実施し、学生の問題解決力を測るとともに、教員で結果を共有してカリキュラムに生かすための議論を行なった。
- 生命機能化学課程では、前期授業開始前に課程教員会議をオンラインで開催し、授業支援システムを用いたオンライン授業の進め方に関する勉強会を開催した。当日欠席の教員向けにビデオ録画も行い、マイストレージ経由で視聴可とした。
- 生命機能化学課程では、複数の講義で独自に授業内容に関する学生へのアンケート調査を実施した。
- 緑地環境科学類では、複数の講義で独自に授業内容に関する学生へのアンケート調査を実施した。
- 緑地環境科学類では、実習・演習科目に関わる WG を設置し、実習書の作成・改訂や採点評価方法の検討、レポートの作成を中心とする実習指導に関する留意点などの検討会を行った。
- 獣医学類では、著名な研究者を招聘し、獣医学専攻教員のスキル向上のための集談会を実施した。
- 獣医学類では、獣医臨床センターの教員ならびにスタッフの、飼い主様への対応を向上させるための研修を開催した。

2.　FD に関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
4 月 15 日	Zoom 活用講座	セミナー	11 名
5 月 26 日	2020 年度第 1 回工学全体 FD セミナー 「オンライン授業のデザインとすすめかた」	セミナー	5 名
6 月 23 日	内部質保証スタートアップ支援事業成果報告会 第 1 回「質保証の指針・評価体制の構築」	セミナー	10 名
7 月 6 日	内部質保証スタートアップ支援事業成果報告会 第 2 回「国家試験に関わる学類の取り組み」	セミナー	9 名
7 月 27 日	第 1 回「授業デザイン研修 I」 ― 1 回の授業をデザインするための基礎 ―	セミナー	1 名
9 月 7 日	第 2 回工学全体 FD セミナー 「研究室指導に必要なコーチング技能入門 WS －学生が自己効力感を高める工夫－」	セミナー	6 名

9 月 11 日	第 1 回バイオエコノミー研究所セミナー 「新しい産業創出のためのバイオエコノミー」　柴田大輔　京都大学生存圏研究所特任教授	セミナー	8 名
10 月 27 日	第 1 回「授業デザイン研修 II」 ―授業科目全体をデザインするための基礎―	セミナー	1 名
11 月 27 日	第 2 回バイオエコノミー研究所セミナー 「社会課題を基軸とした事業展開」 三本紘士　林愛子　ちとせ研究所	セミナー	8 名
12 月 24 日	FD・SD 研修「障がいのある学生を支援するための 全学的組織体制」	セミナー	9 名
1 月 25 日	第 3 回バイオエコノミー研究所セミナー 「気候変動とサーキュラー・バイオエコノミーのスピード感」　五十嵐圭日子　東京大学	セミナー	13 名
2 月 19 日	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医学専攻集談会「死体に尋ねる、五億年と一万年」（東京大学総合研究博物館、遠藤秀紀教授）	セミナー	50 名
3 月 3 日	第 4 回バイオエコノミー研究所セミナー 「植物による有用タンパク質生産」 松村 健 産業技術総合研究所	セミナー	12 名
3 月 15 日	反転授業実践セミナー 「工学教育における反転授業の実践事例」	セミナー	9 名
3 月 15 日	反転授業実践セミナー 「歴史学における反転授業の実践事例」	セミナー	8 名

3.　FD に関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
生命環境科学域教育運営委員会	学域教務に関する協議・報告	6 回	11 名
新大学応用生物科学科勉強会	新大学における学科の体制、フィールドでの教育研究、カリキュラム	3 回	24 名
生命機能化学課程教員会議	毎月 1 回の割合で課程内での学生指導における情報を共有	12 回	22 名
生命機能化学課程教授会議	新大学における新学科教育課程案の検討	5 回	8 名
緑地環境科学類実習演習検討 WG	・実習書の改訂と実習プログラムの見直し ・新型コロナウィルス感染症の感染拡	3 回	11 名

	大防止対策の検討 ・実習演習テーマと評価基準の検討およびレポート採点における意思統一など ・2022 年度以降の新体制に向けた実習内容の見直し	※メール会議 10 回程度	
医療面接・振り返りミーティング	医療面接の内容を充実するため実施内容を振り返った	2 回	のべ 40 名

4. FD 活動への各教員の参加状況

※ 前項のセミナー・委員会等への参加の他、教授会後に実施している勉強会等への出席や、分野内で成績分布について確認・検討する機会を設けている場合なども含みます。

教員数（実数）	111 人 ／ 112 人中 118*人 ／ 118*人中 (*特認助教等を加算した場合)

5. ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期	0	0	
後期	0	0	
年度 合計	0	0	

6. その他取り組みの具体的実施状況

- 生命機能化学課程では、講義の内容や方法を改善・向上させるために「授業改善に役立つコンテンツ集」や「オンライン授業実践事例集」を視聴するように指導した。
- 緑地環境科学類ではアンケートを実施した：植物形態分類学（回答数 47/56、回収率 84%）、緑地環境科学入門演習（回答数 47/51 件、回収率 82%）、水理学（受講者数 87 名（2・3 回生同時開講）、平均回答率 92%）、水環境管理学（受講者数 12 名、平均回答率 85%）